

資料館だより

CONTENTS

- 1… 就任あいさつ／TOPICS
- 2… 展示活動報告／お宝紹介
- 3… 資料館での雑感／平成25年11月～平成26年3月移管・寄贈資料
平成26年度 資料館スタッフ紹介
- 4… 開催案内／資料館業務日誌／平成25年度入館者

四高開学88年記念
「四高生こけし」
(超然の華)

就任あいさつ

この度、資料館長に就任しました奥野です。古畑前館長が精力的に進められてきた「金沢大学史アーカイブ整備事業」、「ヴァーチャル・ミュージアム・プロジェクト」、「モノ資料整備事業」ならびに多くのユニークな企画展等を引継ぎ発展させることが、私の当面の仕事であると考えています。幸いにも、前館長のご努力で副館長として有村先生に加わっていただきましたので、今後は副館長とともに資料館の発展に努力していきたく思います。

本学資料館は、多くの他大学の大学博物館とは異なり、豊富な歴史資料や文書資料を有することが大きな特徴だと思っています。今後は、これらの資料を十分に生かした事業を進めるとともに、自然史関係の資料・標本整備事業も進めて行ければと考えています。大学博物館の特徴は、さまざまな資料・標本を収蔵・展示するだけでなく、学内にその資料・標本を用いた研究を行っている研究者がいることです。この強みを生かして、資料館のみならず金沢大学の発展に少しでも貢献できるよう、努力する所存です。

皆様には、今まで同様に本学資料館へのご支援をいただきますよう、よろしくお願い致します。

平成26年4月1日

金沢大学資料館長 奥野 正幸



TOPICS

「金沢大学史アーカイブ」整備事業が完成

—資料目録をデータベース化し、資料館HP上で公開—



<http://archive.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

資料館では、平成21～25年度の継続事業として「金沢大学史アーカイブ」を整備しました。

本事業では、資料館に蓄積されていた過去文書約11,000点の整理とともに、本資料目録の作成とデータベース化に取り組んできました。

このたび、目録の作成を終え、これをデータベース化し資料館HP上で公開しました。

今回の公開により、本学に関わる記録、学術資料等を利用される皆さんにより一層貢献できることを願うとともに、閲覧等の申請書作成作業等の簡便化を図っておりますのでぜひ一度ご覧ください。

展示活動報告

企画展

19世紀の3D —ステレオ写真の世界—

会期 平成25年12月11日～平成26年3月20日 会場 金沢大学資料館展示室



企画展チラシ

3D映画が活況の昨今ですが、ステレオ写真は、19世紀後半から20世紀中ごろまで世界中でブームとなった立体視写真です。

資料館では、第四高等学校(四高)で使われていたステレオ・スコープ(ビューア)とこれに付属するステレオ写真(英国王エドワード7世の葬儀、同ジョージ5世の戴冠式、日露戦争の沙河会戦・旅順攻略戦などの歴史的な写真や風俗・演劇の写真、さらには他に例を見ない心臓のステレオ写真など、約200点)を一挙に展示しました。

また、3Dメガネを用意し、来館者の皆さんが、これらのステレオ写真を実際に体験できるハンズオンコーナーも用意しました。

さらに、関連資料として、ステレオ写真の原理を説明する四高旧蔵教育掛図、1922年のアインシュタイン来日時に彼を撮影したといわれる古谷健太郎氏旧蔵カメラとその写真パネル(写真提供:お茶の水女子大学)なども展示しました。



3Dメガネでステレオ写真を観る
中村前学長

「学生による資料館紹介ポスター展 —「博物館情報・メディア論」受講学生による作品展—」を開催

資料館では、2月10日～28日、中央図書館ギャラリーαで、「博物館情報・メディア論」を受講した学生たちが資料館及び企画展をテーマに制作したポスターを展示しました。

資料館が作成するポスターとは一味違ったデザインも多く、見事な出来栄でした。



ポスター展示風景

お宝紹介

巻物になった解剖図 —ウェーバー実物大解剖図—

資料館の教育掛図コレクションに、全長が2mを優に超える巻物(卷子状)の全身解剖図(ウェーバー実物大解剖図)がある。この図は一枚の縦長の紙に描かれているわけではなく、横71.5cm、縦53cmの版画4枚をつなげることでその姿を成すように制作されている。描かれている人体も身長170cmはあり、圧巻である。一方、西洋的な線表現で描かれた全身解剖図が和紙と布で裏打ちされ表装されている様は、和洋が混在し不釣り合いでもある。ミクスカルチャーとでも言うべきであろうか。

この図譜の監修者はドイツ人の解剖学者モリッツ・イグナーツ・ウェーバーMoritz Ignaz (Jignaz) Weber (1795～1875)、発行年は1830～1841年、デュッセルドルフで発刊された。少なくとも170年以上前の資料となれば、金沢大学の源流である加賀藩種痘所(1862)もできていない頃だ。銅版画によって緻密に表現された人体解剖図には、ルネサンス期から綿々と受け継がれる西洋的な細密表現の粋を見ることができる。この図譜はベルリンのハイデルベルク大学も所蔵しているが、4枚はつながれておらず、もちろん巻物にもなっていない。慣習的にこういった大型の図は持ち運びの便のため、つなげずに保管し、使用するときと並べて使用していた。ややロマンチックな表現になるが、ドイツで生まれた解剖図は日本に来て巻物という装丁形式に出会い、悠然と立ち上がり、我々の前にその姿を現したのだ。



〈ウェーバー実物大解剖図〉のうち
〈韌帯背面〉の部分

に保管し、使用するときと並べて使用していた。ややロマンチックな表現になるが、ドイツで生まれた解剖図は日本に来て巻物という装丁形式に出会い、悠然と立ち上がり、我々の前にその姿を現したのだ。

〈ウェーバー実物大解剖図〉は総点数84点にのぼるが、資料館ではこのうち5点の全身解剖図と10点の局所解剖図を所蔵している。経年劣化で変色はしているものの、繊細な紙資料が火災や戦災をかいくぐってよくぞ残ってくれたものである。これら5点の全身解剖図は今後、金沢大学ヴァーチャルミュージアムにおいて高精細画像で公開される予定である。

金沢大学資料館 笠原 健司

資料館での雑感

資料館と私



平成13年4月から4年間、資料館長を務めました。ベテランの在田則子さん、若さ溢れる田嶋万希子さんと一緒に。お二人は未熟な私を激励しつつ、温かく導いてくださったものです。楽しくもあり、大変でもあった歳月を思い出すまに、若干の記憶を辿ることをお許しください。

第一は、「大学史史料」の蒐集を始めたことです。博物館業務に加え、文書館の機能を果たすことが困難であることは、自明の理でした。しかし、総合移転や五十年史編纂の終了、関係法規の改正などによる、行政文書の散逸は黙視しが

たいものでした。私はまさに火中の栗を拾う思いで、蒐集を決断したのです。一方、当時副学長であった中村学長が、医学部に収蔵されていた明治以来の簿冊移管にお力添えくださったこと、虫損の酷い同簿冊の燻蒸について、林前学長から格別の経費を頂いたことなども、忘れがたい思い出です。事務官の方々の献身的な支援もあり、旧制諸学校から旧教養部まで、全学的規模で資料を集積することができました。

第二は、板垣英治先生はじめ、お世話になった方々のことです。先生は第四高等学校物理学実験機器の調査研究をはじめ、幾多の研究を全くのボランティアで、積極的に行って下さいました。先生のお蔭で明らかになった史実が多数あります。また自然科学系の資料目録等を多数出版

することができましたのも、先生のご尽力の賜物でした。医史学関係でお世話になりました寺畑喜朔先生・赤祖父一知先生、科学史の故竹村松男先生のお名前とともに銘記し、深甚の謝意を捧げたいと思います。

私は32歳で本学に着任し、平成25年度末を以て定年退職します。半生に亘る33年を本務の教育・研究に捧げるつもりでしたが、他にも様々な仕事を仰せつかり、苦悩しつつこなして参りました。ただ、その出発点が資料館であったことは、幸せであったと云う他はありません。皆様、本当に有難うございました。衷心より御礼申し上げます。

平成26年3月吉日
金沢大学人間社会研究域歴史言語文化学系教授
笠井 純一

平成25年11月～平成26年3月 移管・寄贈資料

今期も貴重な資料の数々を移管・寄贈していただきました。当館にて大切に保管し、貴重な資料として活用させていただきます。改めて感謝申し上げます。

(平成25年度第3回資料館委員会(26.03.11開催)承認)

移管

- ・第四高等学校やその他本学前身校等で使用されていた物理実験機器、理工系事務部会計課調達係 (自然科学5号館地下機械室で保管されていたもの) 計132点



教育掛図(地質学説明図)

寄贈

- ・双眼鏡、温度気圧方位計、コンパス 馬替敏治氏(本学名誉教授)
- ・第四高等学校和漢叢書細目
- ・第四高等中学校本部醫學部和漢書目録
- ・尿タンパク計測器(アタゴセムメーター2型) 間山昭義氏



双眼鏡



尿タンパク計測器(アタゴセムメーター2型)

平成26年度 資料館スタッフ紹介

資料館長

奥野 正幸(理工研究域自然システム学系教授)

資料館委員

奥野 正幸(資料館長)
古畑 徹(附属図書館長)
岩田 佳雄(情報企画会議委員)
多久和 陽(情報企画会議委員)
濱 富美夫(情報企画会議委員)
有村 誠(資料館副館長)
森 雅秀(資料館研究員)

資料館研究員

森 雅秀(人間社会研究域人間科学系教授)
能川 泰治(人間社会研究域歴史言語文化学系教授)
小林 信介(人間社会研究域経済学経営学系准教授)
大久保英哲(人間社会研究域学校教育系教授)
大村 雅章(人間社会研究域学校教育系教授)
鳥居 和代(人間社会研究域学校教育系准教授)

資料館客員研究員

馬替 敏治(金沢大学名誉教授)
本康 宏史(金沢星稜大学)

宮下 和幸(金沢市立玉川図書館近世史料館)
谷本 宗生(東京大学大学史史料室)
堀井 美里(合同会社 AMANE)
上田 啓未(デジタルアーキビスト)
ジェレミー・フィリップス(翻訳家)

事務職員

井川 俊昭(情報部情報企画課)
笠原 健司(情報部情報企画課)
高出 真妃(情報部情報企画課)

開催案内

新歓展

学生たちの肖像 一前身校の学生写真・制服一

会期 平成26年4月4日～6月27日
会場 金沢大学資料館展示室



新歓展チラシ

新歓展は、新入生に対し、金沢大学の沿革図や本学(前身校を含む)出身の著名人などをパネルで紹介し、自身が入学した大学・学域を身近なものに感じてもらうことを目的に企画しています。

今回は、本学前身校における入学時の集合写真や学習風景、学生生活などを写した写真とともに、当時の学生が愛用したマントや帽子、学生服、下駄なども展示します。



四高生像

資料館業務日誌

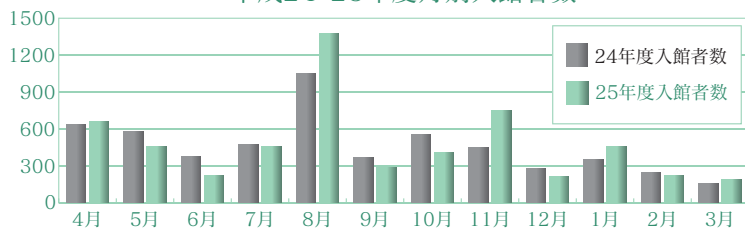
(平成25年12月～平成26年3月分)

12. 3	平成25年度第9回ヴァーチャル・ミュージアム打合せ
12. 5	第24回保存フォーラム参加(国立国会図書館東京本館)
12. 6	千葉市科学館松尾ボランティア活動推進チームリーダー来館
12.11～3.20	企画展「19世紀の3D～ステレオ写真の世界～」
12.13	「金沢大学資料館紀要(第9号)」エントリー締切
12.14	日本仏教総合研究会第12回大会参加者来館(臨時開館)
12.17	学長企画展視察
1.14	平成25年度第10回ヴァーチャル・ミュージアム打合せ
1.14	「金沢大学資料館紀要(第9号)」原稿提出締切
1.15	信州大学笹本副学長一行来館
1.20	平成25年度第2回紀要編集委員会(書面付議)
1.20	「資料館だより(第43号)」発行
1.21～1.23	平成25年度アーカイブズ研修II参加(国立公文書館)
1.27	京都大学総合博物館山下特定助教来館
1.31	平成25年度第3回紀要編集委員会(書面付議)
2. 5	収蔵庫(1階)に書架増設
2.10～2.28	学生による資料館紹介ポスター展～「博物館情報・メディア論」受講学生による作品展～
2.21	大阪経済法科大学永平教授来館
2.26	平成25年度第11回ヴァーチャル・ミュージアム打合せ
3. 6	東京大学大学院総合文化研究科石原准教授来館
3.10	インドネシア・スマラン国立大学訪問団来館
3.11	平成25年度第3回資料館委員会
3.14	和歌山大学附属図書館橋本特任准教授来館
3.17	平成25年度第12回ヴァーチャル・ミュージアム打合せ
3.18	東京藝術大学総合芸術アーカイブセンター副センター長大角教授・橋本特任助教来館
3.28	「金沢大学資料館紀要(第9号)」発行
3.31	金沢大学史アーカイブ(非現用法人文書データベース)をHP上で公開

平成25年度入館者

(平成25年4月～平成26年3月分)

平成24・25年度月別入館者数



月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24年度	639	577	375	474	1,050	373	552	448	279	356	251	158	5,532
25年度	661	457	224	460	1,379	287	411	749	211	461	224	193	5,717

Art Museum?

企画展

会期 平成26年7月9日～9月26日
会場 金沢大学資料館展示室

資料館所蔵の絵画、書、骨董などの美術品を展示します。同時に、本学の美術系教員や学生が制作した造形芸術作品を「一坪展」(＝特定のスペースで展示)で紹介するなど、本資料館を美術館に変身させる計画をしています。



郡司和男<墮天使>(1978)

お知らせ

- 資料館紀要(第9号)を発行しました。金沢大学資料館ホームページ及び金沢大学学術情報リポジトリKURAで公開しましたので、ぜひ一度ご覧ください。



金沢大学学術情報リポジトリ KURA
<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/36864>

- 平成25年度の資料館展示室入館者数が、2年連続の記録更新となりました(P4に関連記事)。今後とも、一人でも多くの皆さんに来館してもらえよう努めてまいりますのでご支援よろしくお願いいたします。

編集後記 4月から資料館長が交代しました(P1, P3に関連記事)。

古畑前館長には、資料館担当職員がサポート3名という誠に脆弱な組織の中で、パワフルな活動とともに様々な資料館業務を熱心にご指導いただいたこと等々、この紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

このたび、前館長の肝いりで進めてきた「金沢大学史アーカイブ」の資料目録をデータベース化しHP上で公開しました。資料の利用を希望される皆さんの負担軽減の気持ちを込めた、「お・も・て・な・し」仕様となっております(手前味噌?)。ご高覧いただければ幸甚! (井川俊昭)

金沢大学資料館だより 第44号 平成26年5月15日発行



【発行/編集】金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町
TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050
Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp
<http://museum.kanazawa-u.ac.jp>